

(別紙2)

# 平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立恵那高等学校

学校番号 49

## I 自己評価

|          |   |
|----------|---|
| 1 学校教育目標 | 質実剛健・自重自治の伝統精神を基調とし、進取闊達にして知性と情操豊かな民主国家の形成者を育成する。 |
|----------|---|

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 2 評価する領域・分野                    | ◇保健厚生   |
| 3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等 | <p>(1) 保健衛生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*保健室利用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の問題をかかえる教育相談的対応を必要とする生徒の利用が増えている。(不登校)</li> </ul> </li> <li>*運動器検診の実施(1年生)           <ul style="list-style-type: none"> <li>・関節の柔軟性(問診票にチェックした生徒の割合)               <ul style="list-style-type: none"> <li>①指先が床につかない 男子42% 女子31%</li> <li>②しゃがめない 男子12% 女子8%</li> <li>③かかとが尻につかない 男子28% 女子19%</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>*救命救急講習の実施(生徒)</li> </ul> <p>(2) 安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*安全点検の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回(施設設備の不備や危険箇所の点検・確認)</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*非常変災時における安全確認の予行及び実践           <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月初旬に帰宅安全確認の予行を実施。保護者の理解、協力を得ることができた。</li> <li>※9月の大雨警報発令時に実践(2回)</li> </ul> </li> <li>*命を守る訓練の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回(緊急地震速報の利用及び予告なし訓練)</li> <li>※5月、11月、2月に実施</li> </ul> </li> <li>*9月にHUG(避難所運営ゲーム)研修を実施(職員)</li> </ul> <p>(4) 環境美化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*学習環境の整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員清掃と定期的な大掃除、長期休業中の掃除分担</li> <li>・通学路清掃(MSリーダーズ・職員)</li> </ul> </li> </ul> |

|                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 4 今年度の具体的かつ明確な重点目標 | ◇自ら進んで健康で安全な生活を送る態度を育成する。 |
|--------------------|---------------------------|

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 5 重点目標を達成するための校内における組織体制 | <p>(1) 保健厚生部</p> <p>(2) 組織体制(学校・保護者・学校医・恵那市・消防署との連携)</p> <p>(3) 生徒保健委員会</p> |
|--------------------------|---|

|   |   |
|---|---|
| 6 目標の達成に必要な具体的な取組   | 7 達成度の判断・判定基準あるいは指標   |
| <p>(1) ・保健だよりの充実及び保健指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒保健委員会活動による自発的な啓発活動</li> <li>・アレルギー対応の充実</li> <li>・救命救急講習(生徒)の実施</li> </ul> <p>(2) ・安全点検の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医、消防署との連携と緊急時対応マニュアルの整備と災害・事故発生等の緊急時対応の流れの確認</li> <li>・非常変災時における対応マニュアルの整備と安全確認の予行</li> <li>・命を守る訓練の充実</li> <li>・HUG研修の実施(職員)</li> </ul> <p>(3) ・全員掃除の継続及び清掃方法の指導</p> | <p>(1) 保健だよりの発行及び健康相談</p> <p>(2) 生徒委員会活動での反省</p> <p>(3) アレルギー反応時の組織的な対応</p> <p>(4) 救命救急講習(生徒)の実施</p> <p>(5) 学校医・消防署などの外部指導及び意見</p> <p>(6) 防災計画の見直しと非常変災時の安全確認の予行の実施</p> <p>(7) 命を守る訓練の計画・実施</p> <p>(8) 安全点検確認及び校内美化状況確認</p> <p>(9) HUG研修の実施(職員)</p> |

|   |   |                                   |
|---|---|-----------------------------------|
| 8 取組状況・実践内容等  | 9 評価視点  | 10 評価                             |
| <p>(1) 保健だよりの定期的な発行</p> <p>(2) 生徒保健委員会活動(文化祭展示参加・体育祭救護活動・水質検査や石鹼補充等の環</p> | <p>(1) 生徒の健康状態(保健室利用状況)</p> <p>(2) 生徒委員会活動の成果</p> | <p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p> |

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>境衛生活動・熱中症予防対策等の健康啓発活動の継続、教室換気期間を新たに設け評価及び啓発)</p> <p>(3) 食物アレルギー対策委員会の開催</p> <p>(4) 救命救急講習(生徒)の実施</p> <p>(5) 年3回の安全点検の実施</p> <p>(6) 年1回の非常変災時における安全確認の予行の実施、9月の大雨警報発令時に実践</p> <p>(7) 年3回の命を守る訓練の実施(第二体育館改修工事に伴う避難経路の変更と生徒への周知の徹底)</p> <p>(8) HUG研修の実施(職員)</p>  | <p>(3) アレルギー対応における措置</p> <p>(4) 学校医、消防署の指導</p> <p>(5) 安全点検調査結果の活用</p> <p>(6) 非常変災時における安全確認の予行の実践</p> <p>(7) 命を守る訓練の実践</p> <p>(8) HUG研修の実施</p>  | <p>Ⓐ B C D</p> <p>Ⓐ B C D</p> <p>Ⓐ B C D</p> <p>A Ⓑ C D</p> <p>A Ⓑ C D</p> |
| <p>11<br/>成果<br/>・<br/>課題</p>  | <p>○保健委員会の活動が計画的に行われている。各イベント時の活動をはじめ環境衛生活動や健康啓発活動に意欲的に取り組むことができた。</p> <p>○昨年度に引き続き非常変災時における安全確認の予行を実施したことで、安全確認の流れを周知することができた。9月の非常変災時安全確認の実践を通して、生徒・保護者におおむね浸透した。</p> <p>○校内安全点検や命を守る訓練をさらに充実させることで、快適で安全な学習環境の確保と防災意識の高揚を図ることができた。</p> <p>▲初めての試みであるHUG研修は、災害時等に恵那市の避難所として開設される本校にとって、避難所の運営方法について学ぶことができたことは、職員のスキルアップを図る上で大変意義のある研修となった。ただ、学校や地域の防災力向上に貢献する役割を担う高校生防災リーダーの育成という観点に鑑みるに、全校生徒もしくは各学年で選出した生徒を対象にHUG研修を実施し、防災のスキルと意識を高める必要を感じた。</p> | <p>総 合 評 価</p> <p>A Ⓑ C D</p>  |
| <p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己健康管理能力の養成(健康教育及び保健委員会活動の充実)</li> <li>・災害や事故発生等、緊急時における対応の流れの全職員の共通理解と協力(緊急時対応マニュアルの確認と救急体制の周知の徹底)</li> <li>・非常変災時における安全確認の流れを周知徹底(非常変災時における対応マニュアルの整備と確認の徹底)</li> <li>・学校や地域の防災力向上に貢献できる防災リーダーの育成(全校生徒を対象にしたHUG(避難所運営ゲーム)研修の実施)</li> <li>・快適な学習環境の整備(校舎の新設・修繕や体育館の改修により整った施設を清潔に保つため、職員・生徒の美化意識のさらなる高揚を図る。)</li> </ul> |  |  |

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年1月25日

|  |
|--|
| <p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・命を守る訓練は年間3回実施しているが今後も継続してほしい。小中学校のように、友人や自分の「命を守る教育」への取り組みも考えてもよいのではないか。</li> <li>・職員のHUG研修は大変有益であったと思う。今後は、生徒に対してもHUG(避難所運営ゲーム)やDIG(災害図上訓練)等の研修を計画・実施してほしい。</li> </ul> |
|--|